

沿革の概要

昭和 22 年	4月	南院内、院内、東院内、高並、両川各村「中学校」を創立
27 年	4月	院内、東院内中学校を合併し「組合立竜東中学校」を設立
30 年	1月	村の合併により院内村立中学校となる
31 年	9月	高並、両川の両中学校を合併し「高両中学校」を設立
35 年	10月	町制施行により、院内町立となる
44 年	4月	南院内、竜東、高両の 3 中学校を統合し、「院内中学校」を設立
45 年	3月	鉄筋 3 階建て校舎落成
	4月	プール竣工
	7月	校旗制定式
46 年	2月	体育館竣工
	4月	総合落成式、校歌制定式（4月20日 開校記念日）
47 年	12月	清光賞制定（故「田原 キヨ」氏より体育奨励基金 50 万円を寄贈される）
49 年	2月	武道館落成
54 年	4月	第4代校長 故「岩本 達則」氏学校葬
		石楠賞制定（故「岩本 達則」氏より文化奨励基金 50 万円を寄贈される）
55 年	3月	校訓制定「健康・自主・創造」
平成 5 年	4月	コンピュータ室完備（コンピュータ 22 台設置）
10 年	4月	中高一貫教育地域指定（1年次）、ボランティア協力校指定（1年次）
	7月	保健室冷房設備の設置
11 年	4月	中高一貫教育実践研究（2年次）、ボランティア協力校指定（2年次）
12 年	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（1年次）
	9月	中高相互乗り入れ授業実施、ボランティア協力校指定（3年次）
	11 月	プール浄化槽整備
		パソコン教室インターネット接続
13 年	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（2年次）
14 年	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（3年次）
	10 月	中高一貫教育研究発表会
15 年	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省再指定（1年次）
16 年	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省再指定（2年次）
17 年	3月	鉄筋 2 階建て校舎落成
	4月	中高一貫教育研究開発学校 文部科学省再指定（3年次）
18 年	4月	中高一貫教育改善充実事業 文部科学省指定（1年次）
	4月	ボランティア協力校県指定（1年次）
	10 月	故「小山 正時」氏より図書費を寄贈される（「小山文庫」として設置）
19 年	4月	中高一貫教育改善充実事業 文部科学省指定（2年次）

	4月	ボランティア協力校県指定（2年次）
20年	4月	中高一貫教育改善充実事業 文部科学省指定（3年次）
	4月	ボランティア協力校県指定（3年次）
	6月	プール改修
22年	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（1年次）
	4月	プール改修（塗装）
	8月	ソーラーシステム設置
23年	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（2年次）
24年	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（3年次）
	12月	体育館耐震工事完了
26年	6月	部室棟前ウォーターサーバー設置（PTAバザー益金）
	6月	プール排水弁改修
27年	2月	武道場柔道畠設置
	3月	武道場雨どい修理
	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（1年次）
29年	11月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（プレ発表）
30年	11月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（研究発表会）
令和元年	6月	普通教室等エアコン交換・特別教室エアコン設置
令和2年	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（1年次）
令和2年	4月	4月20日～5月15日新型コロナウイルス感染拡大に係る臨時休校
令和2年	5月	5月18日～5月29日新型コロナウイルス感染拡大に係る分散登校
令和2年	5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため「ふれあい体育大会」中止
令和2年	10月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため「文化行事」中止
令和3年	4月	小中高一貫教育研究開発学校 文部科学省指定（プレ発表）
令和4年	1月	宇佐市安心院・院内地域小中高一貫教育に係る文部科学省研究開発学校研究発表会
令和5年	4月	文部科学省指定研究開発学校指定
令和5年	5月	新型コロナウイルス 5類 移行
令和5年	1月	「ふるさと音楽祭」再開